

(株)ウエスギ

【特色】

三重県を代表する総合リサイクル企業。鉄・非鉄金属原料のリサイクルから解体工事、医療系廃棄物処理、水処理、FRP船リサイクルなど幅広く環境事業に従事する。また、電線・ケーブルなど被覆電線の導体として使用されている銅を、自動被覆電線処理機で加工し、銅ナゲットとして販売している。

【沿革】

1921年に初代、上杉利三郎氏が四日市市内で、官公庁関係の払い下げ業務を手掛ける「上杉利三郎商店」を立ち上げたのが始まり。64年には法人化し「上杉物産」を

98年には廃プラスチック・リサイクル事業、2003年には水処理事業、06年にFRP船リサイクル事業にそれぞれ進出。時代の変化に合わせ事業

量は同150トほど。

また、東海地区の非鉄リサイクル業者に先駆け、2007年に米国ワシントン州・シアトル近郊に営業拠点を設立するなど、グローバルな事業展開を推進している。

非鉄スクラップ
ファイル

18



本社

に対応可能な被覆線加工機を設置。これにより銅、アルミ電線を同時に加工することができ、国内での被覆線リサイクルの加速に期待が高まっている。(服部 友裕)

会社概要

▽社長 上杉圭司
▽本社 三重県四日市市天力須賀新町1-32
▽電話 059-136516800
▽FAX 059-136312055

▽資本金 3000万円
▽従業員 70人
▽事業拠点 ウエスギ USA (米国ワシントン州)

▽主な取引先 各種団体や企業など2000社を超える
▽主な設備 被覆電線処理機 (ナゲット加工機)、水処理設備、産廃用破碎・中和・圧縮設備など

新分野・海外多彩に開拓

設立した。

また、80年には上杉勝治会長が開発したナゲット加工機を使用し、銅ナゲット販売をスタート。

を多角化してきた。

遺品整理事業に新規参入

「捨てる」を「活かす」に変える」をキーワード

また、80年には上杉勝治会長が開発したナゲット加工機を使用し、銅ナゲット販売をスタート。

上杉圭司氏が5代目社長に就任。同時に社名を「ウエスギ」に改称し、

するなど、事業拡大の勢いは衰えない。

国内資源循環への貢献をめざす。その一環として、このほどアルミ電線

設立した。

また、80年には上杉勝治会長が開発したナゲット加工機を使用し、銅ナゲット販売をスタート。

【課題と方針】

総合環境企業として



上杉社長